

6. 霊の結ぶ実は親切

1. 「・・・わたしのくびきを負い、わたしに学びなさい。・・・わたしのくびきは、負いやすい、・・・」
(新共同訳、漢字の代わりに「くびき」を使用しました。)

1.1. キリストの「くびき」は、人間が作り出した宗教がもっている、不自然な重荷から解放します。(NIB 8:275.)

イエスは群衆と弟子たちにお話しになった。「律法学者たちやファリサイ派の人々は、・・・背負いきれない重荷をまとめ、人の肩に載せる・・・」。(マタイ 23:4、新共同訳)

30 節の「安らぎ」は、神の国や永遠のいのちと関係した、救いの同意語です。

2. 「・・・、あなたがたも・・・わたしから学びなさい。」:この「学ぶ」は、弟子として学ぶことです。ふつうの「学ぶ」という言葉は、ほかにありますので、ここでは、注意が必要です。

この「キリストの弟子として、学ぶ」ことは、単にキリストについての知識を知ることはありません。むしろ、キリストご自身に学ぶことです。キリストの学校で、キリストに学ぶ人、キリストの弟子として、毎日キリストと出会い、キリストと対話をして、キリストが・父なる神により頼んで生きた、その生き方を、私が信仰によって私の生き方とします。

2. マタイ書の前半は交差的対句法で書かれています。救い主、ユダヤ人の指導者、バ・ヨハネ、弟子たち、救い主の、四層の半円形を想像してみてください。四つのキーワードは、外側から中心へと四層の半円形をあらわします。

キリストの学校で、弟子たちの訓練の終了を示す聖句は、マタイ 11:1 上句です。「イエスが、かれの 12 人の弟子たちへの、これらの教育を与えることを終了したとき」(英語聖書、新リヴィング訳)この聖句が、弟子たちの訓練という、絵画の、右側の額縁がこの聖句です。左側の額縁は、マタイ 4:18 です。

キリストの学校の教科書の内容は、キリストの言葉と力です。キリストによって語られた、救いのことばは、5・6・7章の、山の上の説教です。救いの力は、8・9章の、奇跡です。(4:23---9:35)このキリストによる説教と奇跡の、外側の層に、弟子たちが召し出された(4:18--22)、と、弟子たちには、キリストの權威が与えられ、キリストによって、福音伝道者として派遣されました。(9:36---11:1)

3. 「わたしのくびきは、負いやすい。」: My yoke is easy. (ギリシア語聖書) (マタイ 1:30 上句) 3.1. この文脈で「負いやすい」(easy)と翻訳した、ギリシア語の(クウレーストス)は、ほかの訳語として、より良い、親切な、親切、善い、などがあります。英語聖書、新国際訳: (kind, kindness, good)。

3.2. 「わたしのくびきは、親切。」あるいは、「わたしのくびきは、楽しい。」などと翻訳することができます。(kindly or peasant) (マタイ 11:30, NASB: New Open Bible The Study Edition 1096a_5.の訳注によります。)

4. イエスが彼らを召し出された。「いらっしやい。わたしに・ついて来なさい。・・・」(マタイ 4:19)

"Come, follow me, ..." (NLT)

「わたしに・ついて来なさい」という命令は、弟子たちとなる、ことでした。ここでの弟子とは、12使徒たち・だけではありません。クリスチャンとなった、私たち・すべての者が、キリストの弟子です。

4.1. 私たちが今、ここで見ている、「四人の漁師を、弟子とする」(4:18---20)は、じつは、キリストの最初の奇跡なのです。キリストの招待のことば:「いらっしやい。わたしに・ついて来なさい。」は、創造主であり、救い主である、キリストの生けることばです。それは、キリストご自身のことばに応答して、キリストの弟子として存在しはじめた、教会、救い主を信じる、信仰の共同体の誕生なのです。

5. マタイ 28::18、権能。10:1、権能。ローマ 9:21、権限。ヨハネ 1:12、資格。御子なるキリストは、父なる神から、派遣された者としての、神の力をお持ちでした。